

1. 工業高校の実態

本校（工業高校）の制服規定は

- ①. 制服は図1（省略）に示す標準型の学生服、学生ズボンとする。
（長ラン、短ラン、変形ズボン等は禁止する。）
- ②. 上衣には、襟（校章および科章）を図2（省略）の位置に着け、ボタンは指定のものを使用する。 となっている。

	1年	2年	3年	計
ズボン	23%	49%	50%	39%
学生服	5%	12%	17%	11%

本校では月1回の一斉検査と毎朝の校門指導で頭髪・服装指導を行なっているが、10月の服装違反率は上記の通りである。

ズボンの違反で圧倒的に多いのが裾にチャックがついていて全体的に細い形のやつで、これだけ違反が多くなるとはや指導（標準型のズボンに改めさせる）もできず、放任状態ある。学生服で多いのが短ラン（丈がヘソぐらいしかない）で、中でも「セミ短」と言われる代物（上着の裾が袖の長さよりもやや短い）が殆どである。

違反率がズボン程になると指導できなくなる経験から、学生服の違反者を月1回の一斉検査と毎朝の校門指導でチェックし、正しい制服を着用して生徒課に見せにくることになっている。しかし、この程度の指導では事態はまったく変わらない。なぜなら、友達の制服を借りて見せにきて「OK」をもらい、次の日には元のセミ短を着用してくるからである。繰り返し違反する生徒には「親を呼ぶぞ」との脅しで対抗しているが・・・。（注）校務分掌としての生徒課（生活指導課）の仕事の圧倒的エネルギーが、服装・頭

2. なぜ制服にこだわるのか

- ①本校生としての自覚（＝誇りも）をもたせる。それには制服が効果的である。
- ②高校生の本務は勉強することであり、余計なこと（服装等）を考えずに勉強に専念させる。
- ③服装（頭髪も含む）の乱れと、人格の乱れや学習意欲の低下とが関連しており、制服はそうした生徒の発見の目安になる。
- ④制服を定め、それを正しく着用させる指導を通して、学校生活（授業や行事等）の秩序を保つ。本校レベル（学力水準）の学校で制服や頭髪を自由化すれば、ツッパリ（教師の指導に素直に従わない生徒）が数多く入学し、生徒指導がより困難になる可能性が大きい。

③と④については「卵が先かニワトリが先か」という問題もあるが、大部分の生徒については当てはまっており、学校の秩序を保ち、生徒一人ひとりの人格を育てていくために、「制服」が重要な手段となっていると考えている。

そこで出てきているのが制服変更問題である。「学生服では変形（短ラン、セミ短、長ラン、中ラン）が市販されているから違反者が多いのであり、変形が市販化されない独自の制服に変えれば違反者が減る」というのが最大の理由である。もう1つの理由は、中卒者の減少から、高校の生き残りかけた多様化路線との関連である。生徒集めのための新しい学科・コースをつくるとともに、それに合せて学校のイメージを高めるのに制服を
 今のままでよい 22%
 変更すべきである 58%
 その他 19%

利用しようとしている。本校での「制服の指導に関するアンケート調査」によると、次の通りである。

- 学校は制服の指導をするところではなく、あくまでも学問追求するところだ。
 - 家計の苦しい家庭も多く制服で負担を多くするのは気の毒だ。
- というのが反対意見の代表であるが、多数の職員は「服装や頭髪は、本来個人の自由であり、それは学校内外を問わずそうあるべきだと思っている。それが理想であるが、本校でそういう合意が得られるとは思えないから、学生服以外の新しい制服を設定するしかない」と考えているのである。
- その1つの根拠になっているのが、かつて制服を自由化し、そして再び新たな制服を決めた他の市立高校の実態である。

3. 小学校では

私（40代中頃）が小学生の境は、小学校で標準服（制服）なんてほとんどなかったと思う。ところが今では標準服を採用している小学校が増えてきている。編集部会議の論議から言えば、「子どもの個性を伸ばし、センスを磨くためには私服がいい」ということなのに、どうして標準服が増えてきたのだろうか。

小学校の先生にも工業高校のような考え方が増えてきているのかも知れないが、標準服を採用するようになった要因は『親』にあるようである。ある小学校で行なわれた標準服についての保護者への調査によれば、

☆標準服の存廃についての意見]

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1. 現在の標準服がよい | 44% |
| 2. 標準服を廃止して、服装は自由にするのがよい。 | 18% |
| 3. 標準服はあったほうがよいが、型・色・生地などを改善する。 | 31% |
| 4. どちらとも判断できない。 | 6% |

☆現在の標準服についての意見

- | | |
|--|-----|
| 1. 登校する時、どの服を着ようか迷わなくてよいから、標準服があると便利だ。 | 61% |
| 2. 自由になると、入学式や卒業式・修学旅行の時服装に気を使うし、華美な傾向が生まれる。 | 51% |
| 3. 通学服が自由になれば派手になって、子どもも親も競争心に巻き込まれてしまう。 | 49% |
| 4. 標準服のほうが経済的だ。 | 44% |
| 5. 体が大きくなって、すぐに着れなくなるのもったいない気持ちになる。 | 26% |
| 6. 標準服のように皆が同じ服装であるほうが、子どもらしい。 | 24% |

『管理』は集団にとって欠かすことはできない。しかし、教師が服装の規定を決め、教師がそれを守らせることに多くのエネルギーを費やしている現状は滑稽である。本来自由であるべき事柄に制限を加えるのは「子どもの権利」から考え直すべき時期にきている。集団の規律（秩序）を維持するためや子どもの人格を育てるためには、形式的な「制服指導」に頼るのではなく、教師の指導力によって子どもたち自身の「自治」を高めることで達成していくべきであり、難しい課題であるがそれしかないであろう。（TU）